

JSDA 会報

2015 年・秋号



contents

特別寄稿

2

BIMについての小話

株式会社 日本設計 プロジェクト管理部

副部長 3D デジタルソリューション室長 岩村 雅人氏

ニュース

2

保守点検専門技術者講習会を開催

総務委員会だより

3

第18回「マイナンバー制度」について

スポットライト

4-9

浸水防止設備委員会の取り組み

大場委員長、笹田副委員長インタビュー

新規会員メンバー（6社）の抱負紹介

浸水防止用設備の紹介

統計データ

10



BIM についての小話

株式会社 日本設計
プロジェクト管理部 副部長
3D デジタルソリューション室長
岩村 雅人



便利な時代

実は、いまこの原稿を iPhone で書いています。今更ながら iPhone は便利なもので、文章だけではなく簡単な画像編集も可能です。自分がどこにいても、事務所から CG パースを iPhone で受け取り、アプリを用いて色や形状をレタッチ加工し、その場で修正案・比較案を作ること出来ます。便利な時代になりました。

現状

なのですが、建物の情報管理に関しては、まだまだ時代の便利さを享受出来ていないようです。いざ既存建物で調べたいことが起こっても、竣工図以外の施工図、製作図、保証書の類は、別の場所だったり、倉庫の奥だったり、、、結局、しまい込んだ資料を探し出すよりも、施工担当者に来て貰って調査を行い、再図面化した方が早かったりもしています。ある FM サービス会社の調べによれば、建物維持管理に費やされる時間の実に 6 割は、資料探しや現地調査に費やされているという結果さえ出ています。

BIM が開く未来

さて、BIM の話です。BIM というと「3D」を連想される方が多いと思いますが、実は、BIM のポイントは「情報」にあります。

単純に言えば、従来の CAD 図で描かれた図面は「単なる線の集まり」です。「線」をいかに速く正確に描くか、色々と工夫されているものの、考え方としては「手描き」の延長です。しかし、BIM の場合には、線を描くのではなく、「3D パーツ」を、プラモデルのように 3D 空間に配置することでモデルを作ります。つまり、実際の建物づくりにより近い訳です。しかも、モデル上の配置した「3D パーツ」には、個々に「情報」を持たせることが可能です。例えば、BIM 上の「窓パーツ」には、「製作メーカー」「品番」「耐風圧」「気密性」「水密性」「ガラス仕様」等々、様々な文字・数値情報を保管しておくことが出来ます。そして、適切な「情報」入力ルールに基づいて作成された BIM モデルからは、任意の分類による集計表を瞬時に生成することも出来るのです。この集計表は Excel に書き出し、再度、BIM に読み直すことも可能です。

つまり、BIM は「3D 入力ツール」であると同時に「データベース」です。多種多様な建物情報を統合管理するためには、これ以上の道具はないであろう『スーパー 3D データベース』なのです。

未来の準備はできています。本当に便利な時代になりました。

NEWS

保守点検専門技術者講習会を開催

「防火シャッター・ドア保守点検専門技術者講習会」が 9 月から 11 月にかけて東京、福岡、宮城、岡山、大阪で順次開催されています。同講習会は 5 月から大阪、愛知、北海道ですでに開催され、平成 27 年度は全国各地計 10 回で 1000 名以上の受講者数を予定しています。

さる 9 月 18 日に首都圏地区を対象として東京・大崎で行われた講習会では約 230 名、10 月 8 日同・浅草橋では約 310 名の方々が受講しました。この講習は法規をはじめとして防火シャッター・ドアの保守点検に関する実務の講習および考查を行っています。当協会は防火シャッター・

ドア保守点検専門技術者およびシャッター・ドア施工専門技術者等の講習及び認定をする事業を行っており、これら専門技術者の育成及び能力向上に取り組んでおります。



東京・大崎の講習会

第 18 回 「マイナンバー制度」について

はじめに

総務委員会では、経営者並びに社員の皆様が会社内や日常生活でかかわる可能性が高い「法律等」について紹介しています。第 18 回目として今話題の「マイナンバー制度」について紹介します。

マイナンバー制度って何？

マイナンバー制度とは国民一人一人が持つ 12 桁の個人番号のことです。

複数の機関に存在する個人の情報を同一人の情報であるということの確認を行うための基盤であり、社会保障・税制度の効率性・透明性を高め、国民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤です。

導入のメリットとして

- ①面倒な手続が簡単になる
- ②手続が正確で早くなる
- ③給付金などの不正受給の防止となる
などがあります。



いつから始まるの？

平成 27 年 10 月から、住民票を有する国民の皆様一人ひとりに 12 桁のマイナンバー（個人番号）が通知されます。

また、マイナンバーは中長期在留者や特別永住者などの外国人の方にも通知されます。

通知は、市区町村から、原則として住民票に登録されている住所あてにマイナンバーが記載された「通知カード」が送られてくることによって行われます。

そして平成 28 年 1 月から、社会保障、税、災害対策の行政手続にマイナンバーが必要になります。マイナンバーは社会保障、税、災害対策の中でも、法律や自治体の条例で定められた行政手続でしか使用することはできません。

■社会保障

- ・年金の資格取得や確認、給付
- ・雇用保険の資格取得や確認、給付
- ・ハローワークの事務
- ・医療保険の給付の請求
- ・福祉分野の給付、生活保護など



■税

- ・税務当局に提出する申告書、届出書、調書などに記載
- ・税務当局の内部事務など

■災害対策

- ・被災者生活再建支援金の支給
- ・被災者台帳の作成事務など

■平成 28 年 1 月以降は民間企業でもマイナンバーを取り扱います

民間企業は、従業員の健康保険や厚生年金の加入手続を行ったり、従業員の給料から源泉徴収して税金を納めたりしています。

また、証券会社や保険会社等の金融機関でも、利金・配当金・保険金等の税務処理を行っています。

平成 28 年 1 月以降（厚生年金・健康保険は平成 29 年 1 月以降）は、これらの手続を行うためにマイナンバーが必要となります。

そのため、企業や団体にお勤めの方や金融機関とお取引がある方は、勤務先や金融機関にご本人やご家族のマイナンバーを提示する必要があります。

マイナンバーの安全性

マイナンバー制度の一番の懸念材料として、個人情報の監視、個人情報の流出や不正利用といったものがあります。

こうした懸念を払拭するため、マイナンバーを使うことになる行政機関や民間企業を監督する独立性の高い第三者機関「特定個人情報保護委員会」が新たに設けられます。

また、総務省は安心・安全の確保として下記のような様々な措置を講じて懸念払拭に向けて力を入れています。

■制度上の保護措置

- ・成りすまし防止のため、個人番号のみでの本人確認を禁止
- ・特定個人情報保護委員会による監視・監督
- ・罰則の強化など

■システム上の安全措置

- ・個人情報は一元管理ではなく従来どおり各行政機関等が分散管理して保有
- ・アクセス制御により、番号法が規定しない情報連携を防止
- ・個人情報及び通信の暗号化を実施
- ・情報提供ネットワークシステム等の安全性の確保など

まとめ

マイナンバーは非常に利便性が高く、番号一つで様々な手続に対応できるようになりますが、一人に一つの個人情報なので、企業内で使用する場合は個人情報漏洩の防止や適切な管理状態で安全に慎重に使われることが求められます。不正や漏洩などが起こってしまうと、会社全体を揺るがす事件にもなりかねないので会社内で取り扱う際は十分に注意して取り扱うことが重要です。

また、一人一人が自分の身を守るという意識を持って、番号を自己管理することが重要です。

■政府広報オンラインより抜粋

浸水防止設備委員会の 取り組み

インタビュー

近年、異常気象によるゲリラ豪雨等が増加しており、協会としては防災事業の一環として浸水防止用設備の普及が重要であると考えて検討を進めてきました。

そこで、今年1月に発足し、浸水防止用設備の設置推進について検討している『浸水防止用設備委員会』の大場委員長、笹田副委員長にインタビューを行い、活動の進捗状況や今後の取り組みなどについてお話を伺いました。

——はじめに、今年1月に発足した『浸水防止用設備委員会』のこれまでの経緯と、主にどのようなテーマで活動を進められているかお聞かせください。

大場委員長 まず、浸水防止用設備委員会が発足する以前の2013年12月に「浸水防止用設備検討プロジェクトチーム」が設置され、活動を開始しました。このプロジェクトの目的としては、各社が取り扱っている止水板や防水扉が用語を含めて認識などにバラツキがあったため、まずは会員の共通認識を図ると共に、ユーザーの皆様が選定及び設置後に活用頂けるよう、ガイドラインとしてまとめることにありました。その結果、このガイドラインを昨年4月に完成させ、会員用のホームページに掲載しました。そして次の段階としては、止水板や防水扉の性能基準等がないことから、当協会が技術基準を策定するために、当委員会が発足しました。

現在、技術基準を策定中ですが、まずは浸水防止用設備の止水性や容易性などの性能を盛り込んだ上で、施工基準や設計基準などを含めると共に、国土交通省や関係団体の動きを意識しながら進めていきたいと考えています。



大場広教委員長

——今回、シャッタードア業界以外の会員6社に入会いただき参画頂いた中で、お互いに何か変化はありましたか。

大場委員長 今回、止水板や水門を専門的に扱っている企業に参画して頂きましたが、シャッター・ドアメーカーと止水板・水門などを扱う専門メーカーとでは、強度基準や止水基準が全く違うことがよくわかりました。そのため、会合のたびに新たな発見があるとともに非常に視野の広い観点で委員会活動を進められていますので、そうした意味でこの新たな事業を当協会が推し進めることは大きなメリットがあると考えています。

笹田副委員長 私ども専門メーカーは、止水板や防水扉とは浸水防止用設備であり、建具という認識はありませんでした。今回、従来の会員様と会合させて頂くことに刺激を受けており、結果として建具の要求事項などを伺うことができ、私どもにとって良い刺激となっています。また、同業各社が技術的に会合する場もありませんでしたので、新たに浸水防止用設備を扱う業界として一つにまとめ、そこに参画できるという意味で良い機会になりました。

——建具と専門メーカーの各社が一体となって取り組まれていることがよくわかりました。次に、この浸水防止用設

備を取り巻く市場環境において、注目されている動向や課題をどのようにお考えですか。

大場委員長 従来の水防法では内水という解釈が含まれてはいたようですが、条文では明確に記載されていませんでした。しかし、今回の水防法の改正では『内水』という言葉が明確に記載されたことと、浸水想定区域内の地下街等には『浸水防止計画の義務』がうたわれました。そこには止水板等の整備が含まれているため、今後、止水板等を検討する機会が多くなってくることが考えられます。しかしながら、一般のユーザーに対しては、まだ止水板の利便性や優位性は伝わっていないように感じますので、こうしたメリットを広く伝え、啓蒙していく活動につなげたいと考えます。

笹田副委員長 建築会社や設計事務所に対して、従来はメーカー保証やメーカー基準で防水性能を表現していましたが、今後は技術基準や技術標準が確立していくことで、浸水防止用設備を選定する際の資料として活用できるようになります。また、ハザードマップについては従来、外水氾濫を主に想定したものでしたが、ようやく内水氾濫時に想定される水深のハザードマップを整備する自治体も出てきた結果、高さが何cmの浸水防止用設備を設置すればいいのかを把握できる基準資料が整備されるようになりました。そして、浸水被害が想定される場所に建物を建築する場合、設計者としては浸水防止用設備の採用が当たり前に行われる動きが出てきており、昨今の東京 23 区の新築の建築現場では、浸水防止用設備が設計に折り込まれるようになりました。また、防災や減災をテーマとした展示会の開催は確実に増加していますので、浸水防止用設備をご覧になれる機会は増えています。その成果か、「止水板って何？」というお問い合わせは減少してきており、浸水防止用設備は世の中に徐々に浸透してきていると考えています。



笹田剛副委員長

——国土交通省や関係団体とはこういった点やテーマを背景に連携を図られているかお聞かせください。

大場委員長 国土交通省に対しては、ガイドラインの中身について説明させて頂いており、今後ともご指導を頂きながら対応を進めていきたいと思います。また、指定性能評価機関とは試験方法と性能の基準について規格化を進めていますので、意見交換をしながら提案をさせて頂いています。

——最後に当協会の会員の皆様に向けて、何かお知らせがありますか。

大場委員長 浸水防止用設備も、シャッターやドアと同様に防災製品として認識して頂ければと思います。当協会の会員向けホームページにはガイドラインを掲載していますので、ぜひ一度内容をご確認になり、浸水防止用設備の普及促進に活用して頂きたいと思います。

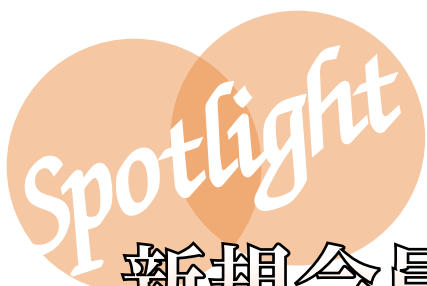


インタビュアー：
秋元洋児・企画広報委員

——ありがとうございました。

「浸水防止用設備委員会」メンバー紹介

< 委員名 >	< 会社名 >
大場 広敦 (委員長)	(株) LIXIL 鈴木シャッター
笹田 剛 (副委員長)	(株) 岡村製作所
伊藤 正人	小俣シャッター工業 (株)
辻 健夫	三和シャッター工業 (株)
山本 誠一	大同機工 (株)
玉置 正人	大日産業 (株)
黒川 貴光	田中サッシュ工業 (株)
諸留 充	東洋シャッター (株)
横山 尚弘	日エマシナリー (株)
鈴木 松三郎	文化シャッター (株)
小日向議寿	丸島産業 (株)



新規会員メンバー(6社)の抱負紹介

株式会社岡村製作所 (第二種会員)

当社は一般に鋼製家具のメーカーとして認知していただいておりますが、止水板・防水扉についても1986年より、30年にわたり販売をしてまいりました。JSDAにおける浸水防止用設備検討PJの開始にあたり入会のご案内をいただき、昨年第二種会員として入会、また本年1月よりの浸水防止用設備委員会にはメンバーとして参加させていただいております。

建築業界ではまだまだニッチな製品とされている止水板・防水扉の性能・規格の策定をJSDAがリードする事により、安全、安心の提供に繋がるものと確信しております。微力ではございますが協会活動に協力させていただきますのでご指導よろしくお願いいたします。

代表取締役社長 中村 雅行
本 社 神奈川県横浜市
設 立 昭和20年10月
事 業 内 容 スチール家具全般および産業機械その他の製造・販売

大同機工株式会社 (第二種会員)

大同機工の山本です。新規会員として参入したばかりで委員会の委員として活動できることを光栄に思います。弊社は設立より、河川・農業用水・下水を通じて「水」に関わって参りました。また、水門関連の製品の設計・製作・据付を官公庁を中心に納入して参りました。水門と浸水防止設備では考え方が多少違ってくるとは思いますが、災害に対し人々の生命や財産を守るため設備に変わりはありません。基準の作成に弊社の経験を生かせるよう臨んでゆきます。

代表取締役 徳永 光昭
本 社 埼玉県戸田市
設 立 昭和31年12月
事 業 内 容 水門、除塵機、防水扉その他鋼構造物の設計・製作・施工・保守管理

大日産業株式会社 (第二種会員)

この度、JSDAに入会し、浸水防止用設備委員会に参画致しました大日産業(株)です。

弊社は40年前に、従来の土嚢、脱着式防水板に変わる浸水防止用設備として、機能的でしかも省力化した出入口用電動起上式防水扉“デゥカリオン”を世に出したパイオニアです。

その後、全国の地下鉄、地下街及びビル等に採用を頂き、実際に多くの浸水を防ぎ、ユーザー様からは厚い信頼を頂いて居ります。

今後も、弊社の多くの実績と経験から委員の皆様と協議を行い、止水性能の高い「信頼のある浸水防止用設備基準」が構築出来ればと考えております。

代表取締役 伴野 功
本 社 愛知県あま市
設 立 昭和44年12月
事 業 内 容 防水扉他の設計・施工・販売

日エマシナリー株式会社（第二種会員）

水門メーカーとして 40 年有余年の実績をベースに防水板（タウンガード）を開発して 11 年が経ち、首都圏を中心に約 700 カ所のユーザー様に納入させて頂きました。

タウンガードもシリーズ化する中、お客様のニーズに応えるべく、企業として CSR 活動を継続しつつ、設計、製造、開発等、新しい物づくりにこだわっていく所存です。

同時に協会員として協会の発展に少しでもお役に立てる様、努力して参ります。

代表取締役 上田 芳弘
本 社 千葉県野田市
設 立 昭和 24 年 11 月
事 業 内 容 各種水門 / 防潮扉 / 除塵機分水装置 / 都市防災（防水板）他の製造・販売

株式会社日本ビット（第二種会員）

日本ビットは 2004 年に福岡県で起きた御笠川の氾濫に伴う博多駅周辺での水害を機に、浸水防止用設備『JP 防水マン』を販売開始し、製品群の充実を図って参りました。更に東日本大震災の復興や、東南海沖、南海沖地震などへの対策として津波対策用防水扉まで領域を広げております。あらゆる水災害対策へ貢献する製品を今後も追及して参ります。

現在これらの製品について基準・規格が定まっていない中、協会が主導され品質やその評価基準の統一化を推進されていることについて賛同致しております。製品への認知が高まり普及が更に進むことを期待しております。

代表取締役 浦崎 順
本 社 大分県大分市
設 立 昭和 48 年 12 月
事 業 内 容 津波・高潮・洪水・ゲリラ豪雨による浸水防止対策製品他の開発・製造・施工・販売

丸島産業株式会社（第二種会員）

当社グループは、昭和 3 年に丸島水門製作所（現名称：丸島アクアシステム）として創業して以来、水門を主業務として企業活動を行ってきております。

防水扉等の都市型防災対策事業は主に当社にて対応しており、重構造・高水圧の扉を得意としています。

今回、協会への加入と共に浸水防止設備委員会へも参加させていただき、水門という狭い世界で活動してきた当社にとって大変刺激となっております。

また逆に水門の考え方をご紹介させていただくことにより、水害対策という同じ目的をもった各社委員の方々への一助になればという思いで参加させていただいております。

代表取締役 荻野 英彦
本 社 大阪府大阪市
設 立 昭和 47 年 11 月
事 業 内 容 水門扉他都市防災設備等鋼構造物の設計・製作・施工

浸水防止用設備の紹介



会 員 名：(株) 岡村製作所
製 品 名：電動起上式防水板
製 品 特 徴：浸水被害に対し、スイッチ操作のみで速やかにセット完了します。



会 員 名：三和シャッター工業 (株)
製 品 名：ウォーターガード 防水シャッター
製 品 特 徴：“業界初” 管理用シャッターとしても使用できる浸水高さ 2m に対応する防水シャッターです。



会 員 名：大同機工 (株)
製 品 名：シート式防水扉
製 品 特 徴：防水シート両端の水密ファスナーを引き上げるだけで設置完了。また、底部収納なので、防水板の収納場所や移動はありません。



会 員 名：大日産業 (株)
製 品 名：出入口電動起上式防水扉 “デウカリオン”
製 品 特 徴：流水感知器を設けることにより浸水の危険を知らせることができ、夜間等におこった場合でもスピーディーな対応が可能です。



会 員 名：田中サッシュ工業 (株)
製 品 名：片開き防水扉
製 品 特 徴：ハンドルを回転させることで扉と枠を密着させます。ラック式グレモンにより軽い操作で止水状態にすることができます。



会 員 名：東洋シャッター (株)
製 品 名：アルミ水防板
製 品 特 徴：軽量で持ち運びができ、簡単に設置できます。また、電動操作で運搬・設置の手間を解消した吊下げ式タイプもあります。



会 員 名:日工マシナリー (株)
製 品 名:手動起立式防水板 (SK-1)
製 品 特 徴:より安全に、より確実に、より簡単に、より早く、安心してお使い頂け、センターシール式にて優れた防水性能を有します。



会 員 名:文化シャッター (株)
製 品 名:BX 止水板「ラクセット」
製 品 特 徴:自動ドアに最適でしかも工事不要。女性でもラクラク設置のお手軽な止水板です。



会 員 名:丸島産業 (株)
製 品 名:両開き防水扉 (形式:鋼製マイターゲート)
製 品 特 徴:ゲートの両側に取り付けられたヒンジ金物で、非常時に両扉をスイングさせて閉鎖します (設計水深:8.96m (正圧))。



会 員 名:(株) LIXIL 鈴木シャッター
製 品 名:簡易脱着タイプ防水板 アピアガード「オクダケ」
製 品 特 徴:ゲリラ豪雨でも 1 分もかからずセット完了。パネルを 3 枚置くだけで素早く簡単にセットできる防水板です。



会 員 名:(株) 日本ピット
製 品 名:JP 防水マン (JP-WP-D 扉式)
製 品 特 徴:ゲリラ豪雨などへの脱着式・シート式から津波対策用電動扉まで、あらゆる水圧に最適設計でご提案します。



統計データ

■過去 1 年間出荷推移 < シャッター > (㎡、前年比・電動化率 %)

	H26.9 月	10 月	11 月	12 月	H27.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
重量シャッター	100,690	103,915	94,053	85,676	82,249	84,676	91,560	94,916	89,776	107,095	111,460	99,104
前年比	-2.5	-5.1	-12.5	-8.7	-4.6	-1.7	5.9	3.6	12.0	30.0	11.6	5.5
軽量シャッター	191,274	207,078	183,762	173,608	141,467	150,517	175,711	183,360	168,198	194,739	193,540	157,935
前年比	2.9	-10.1	-12.8	-9.2	-11.0	-13.7	-18.0	-1.0	-4.4	8.5	0.2	-3.1
電動化率	26.5	25.4	26.7	28.1	26.7	28.2	27.3	27.0	25.8	27.1	28.0	27.5
グリルシャッター	3,930	3,949	4,272	4,164	3,568	4,372	3,660	3,306	2,651	3,211	3,460	2,241
前年比	-15.3	-25.6	-13.7	-20.9	-16.7	-7.0	-25.0	-21.6	-32.4	-26.9	-9.0	-43.4
オーバーヘッドドア	22,053	21,853	22,617	21,536	20,373	19,613	22,707	18,144	16,019	20,786	25,328	21,794
前年比	-2.5	-12.2	-22.0	-3.0	-3.1	-13.1	0.9	21.4	-5.1	15.9	17.8	7.5
合計	317,947	336,795	304,704	284,984	247,657	259,178	293,638	299,726	276,644	325,831	333,788	281,074
前年比	0.5	-9.0	-13.5	-8.8	-8.4	-10.0	-10.5	1.3	-0.1	14.7	4.8	0.0

< ドア > (枚、前年比 %)

	H26.9 月	10 月	11 月	12 月	H27.1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
鋼製重量ドア	46,183	43,314	39,129	44,286	38,070	46,412	56,161	35,807	31,107	32,381	34,538	36,788
前年比	14.3	18.1	-7.4	13.5	-2.3	17.0	16.5	9.5	-0.7	-10.1	-14.3	5.3
鋼製軽量ドア	33,841	40,199	39,043	41,228	45,660	45,772	35,595	26,412	23,554	29,352	33,150	29,694
前年比	-1.6	7.1	-4.5	-2.0	4.9	-4.5	-2.8	-5.4	-20.5	-8.7	-1.9	5.8

注) ・「鋼製重量ドア」は鋼製建具を、「鋼製軽量ドア」は鋼製軽量建具を指します。
・鋼製重量ドアは、ガスチャンパー、点検口を含みます。

平成28年経済センサス - 活動調査 を実施します。



経済センサス - 活動調査は、我が国における産業構造を包括的に明らかにすることを目的とする政府の重要な調査で、「統計法」という法律に基づいた報告義務のある基幹統計調査です。

支社等を有する企業の本社あてに、平成27年9月中旬から「企業構造の事前確認票」を郵送しますので、内容のご確認・ご回答よろしくお願いいたします。

総務省・経済産業省

新日鐵住金の高耐食性めっき鋼板

SuperDyma®

スーパーダイマ

JIS申請中!

環境に優しいクロメートフリー処理!!

「総合力世界No.1の鉄鋼メーカー」へ



新日鐵住金

薄板営業部

スーパーダイマの詳しいご案内は

スーパーダイマホームページ URL/

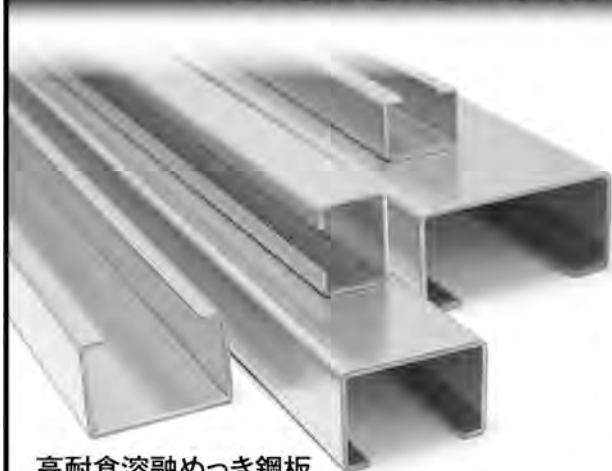
<http://www.nssmc.com/product/superdyma/>

お問い合わせ

E-mail

superdym@jp.nssmc.com

ZAM®はニーズに合わせ、 さまざまな形状がご提供できます。

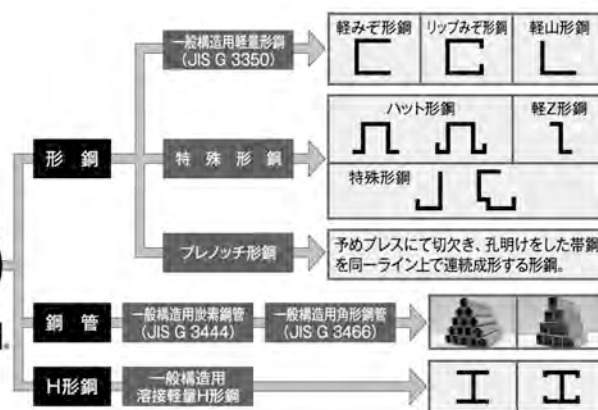


高耐食溶融めっき鋼板

ZAM®

※「ZAM」は、日新製鋼株式会社の登録商標です。

「ZAM」は、日新製鋼株式会社が開発した溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板の商品名です。



3大
特長

- ①コストダウン…高耐食性による長寿命化、後めっき代替が可能です。
- ②寿命が長い…耐食性が溶融亜鉛めっきに比べ、10~20倍優れています。
- ③環境にやさしい…長寿命で、少ないめっき付着量の省資源型商品です。

※平成24年11月に溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板が、日本工業規格JIS G 3323として規格登録されました。

日新製鋼株式会社

●本社 〒100-8366 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル TEL.03-3216-5166

●大阪支社 ●名古屋支社 ●中四国支社 ●北海道支社 ●東北支社 ●新潟支社 ●北陸支社 ●岡山支社 ●四国支社 ●九州支社

アメリカ・サンフランシスコ

アメリカ合衆国の西海岸に位置するカリフォルニア州の北部の都市、サンフランシスコ。

緯度でいうと福島県とほぼ同じであり、年間の温度変化が少なく降雨日数 70 日と過ごしやすい気候が特長である。日本人が多く移住しており、全米で 3 つある「ジャパントウン」の 1 つがある。その他にも、「チャイナタウン」や「リトルイタリー」などがあり、国際色豊かな都市である。また、美しく特徴的な街並みは映画やドラマの舞台になることも多く、国内外問わず多くの観光客を惹きつけている。



「ゴールデンゲートブリッジ」
サンフランシスコのシンボル。「金門橋」とも呼ばれる。



「フィッシャーマンズワーフ」
新鮮なカニやエビなどの海鮮物が
食べられる屋台やレストランなどが並ぶ。



「ロンバードストリート」
曲がりくねった坂道。
約 400m の下り坂の間にターンが 8 回続く。

JSDA 会報 2015 年・秋号

発行日:2015 年 10 月 通巻第 45 号

発行者:一般社団法人 日本シャッター・ドア協会

〒101-0065 東京都千代田区西神田 2-5-8 共和 15 番館ビル 2F

tel.03-3288-1281 (代) /fax.03-3288-1282

URL:<http://www.jsda-a.or.jp>